


2. みんなでつくるまちづくり


(1) 地域で目指すまちづくり～地区計画～


 「ふ～片付いた～。マチコも手伝ってくれてありがとう。」

 「うん! 頑張った～!!」

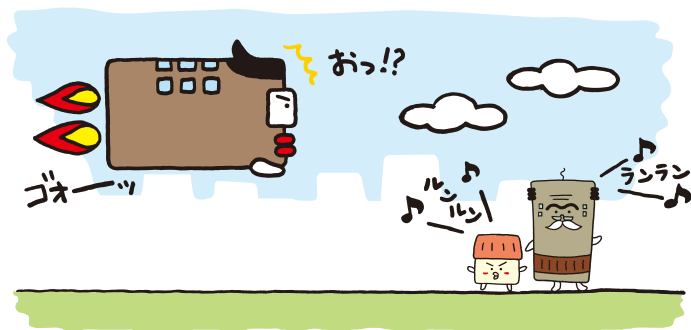
 「マチコの近くに来ることができたし、引っ越したかいがあったなー。それに、駅から近くて便利じゃし、お店もいっぱいあってにぎわっておるぞ。」


マチオはとても満足そうだった。

 「楽しいねー! 前より近くなったし、今度アタシのまちにも遊びに来てよ。」


 「まちなみがきれいだし、静かで落ち着いているし、みんなの家の前にはみどりがいっぱいあるの。それに山の景色がとてもきれいに見えるんだ～。とっても素敵なまちなんだよ!」

そんな話をしていると、空に大きな影が1つ…。



 「地域によっていろいろな魅力がありますね。引っ越してみるといろいろ気付くことも多いと思います。実はマチコちゃんのまちでは、**まちの魅力をアップする取組**を行っているんです。」

 「そうなんだー!」

 「いくつか方法はあるのですが、まずはマチコちゃんのまちで定めている地区計画というルールについて説明します。」

市役所くんはどこからともなくリーフレットを取り出した。

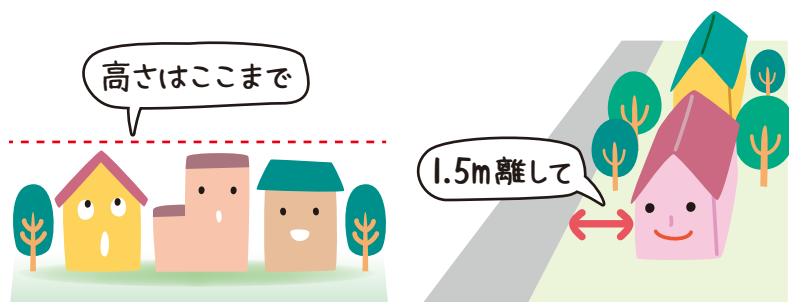


🏠 「地区計画は昭和55年(1980年)にできた都市計画制度の1つで、住民のみなさんと札幌市が一緒にまちづくりを進めていくことに大きな特色があります。」

🏠 「具体的にはどんなこと?」

🏠 「用途地域ごとの決まりに加えて、さらにきめ細かなルールを決めることができます。」

🏠 「たとえば、調和のとれたまちなみをつくるために建物の高さの最高限度を定めましょうとか、ゆとりあるまちなみをつくるために建物を道路から1.5m離して建てましょう、ということを決めたりします。」



🏠 「なるほど。主に建物の建て方に関するルールが決められるということかな?」

🏠 「そうですね。大まかな構成についてはこちらを見てください。」

地区計画の構成

地区計画を支える2本の柱

●地区計画の方針

どのようなまちにしていきたいか、地区の目標や将来像を定めます。

●地区整備計画

「地区計画の方針」のもと、主に建物の建て方などに関するルールを定めます。

「地区整備計画」ルールの一例

建物の用途	その地区にふさわしい建物を建てられるようにします。
敷地の大きさ	北国としての良好な住環境を形成できるようにします。
壁面の位置	植栽スペースなどを設け、うおいとゆとりのある街並みを形成できるようにします。
建物の高さ	その地区にふさわしい高さの建物を建てられるようにします。
へいの高さ	開放的な明るい街並みを形成できるようにします。

🏠 「このように、地区計画は、地区のまちづくりの目標や将来像を『地区計画の方針』、建物の建て方に関する具体的なルールを『地区整備計画』として定めます。」

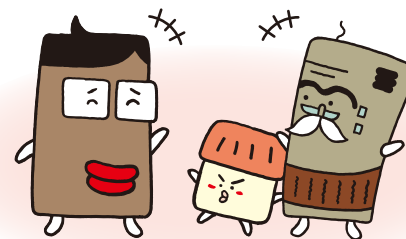
🏠 「地区計画をつくった後、新しく家を建てる方や増築をする方は市役所の窓口で『地区計画の届出』をします。そうして、みんなで地区計画のルールを将来にわたって守っていくことで、きれいなまちなみを育てていくのです。」

「でも、いくら地域のみなさんの希望であっても、都市全体のあり方を決めた2次マスから大きく外れてしまうような内容の地区計画を決定することはできません。」

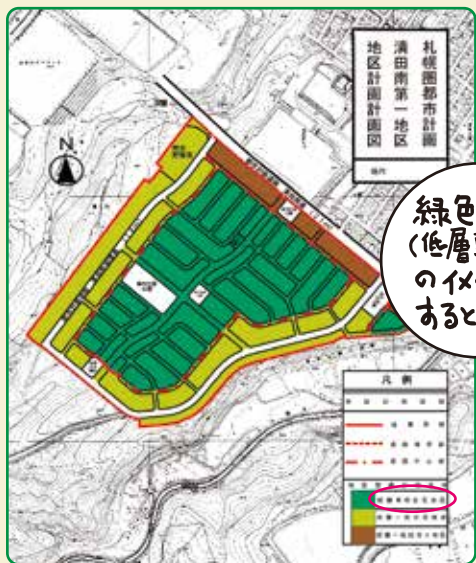
「たとえば、戸建住宅地にとっても大きいビルを建てたい! というような?」

マチオは想像してみた。

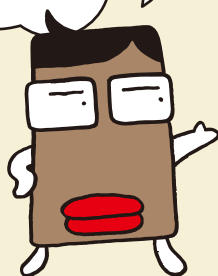
「そうですね。極端に言うとそういう感じです。地域の特徴をみんなで話し合いながら、地域の目指す姿を考えていくことが大切なんです。」



一地区計画の事例紹介一 たとえば「清田南第一地区」の場合



緑色の地区整備計画
(低層専用住宅地区)
のイメージを図に
すると……。



※「清田南第一地区」の地区整備計画「低層専用住宅地区」の用途地域は「第一種低層住居専用地域」です。



(2) もっと魅力的なまちへ～景観まちづくり～

① さっぽろの景観形成について知ろう ～札幌市景観計画～

🏠 「ほかにはまちの魅力をアップする取組はあるのかのう?」

🏠 「よくぞ聞いてくれましたマチオさん。地区計画のほかにも、地域の特性に応じた景観づくりを行う景観まちづくりという取組があるんです!」

🏠 「景観まちづくり…そもそも景観とは何なんじゃ?」

🏠 「それでは、景観まちづくりの取組について説明する前に、まずは、札幌市が策定した『札幌市景観計画』を見ながら、さっぽろの景観形成について説明しましょう。」

こう言って、市役所くんは札幌市景観計画の冊子を取り出した。

マチオは「さっきのリーフレットといい、いつも持ち歩いているのじゃろうか…?」と不思議に思ったが、今回は聞かないことにした。

🏠 「一般的に『景観』とは景色や眺めなどを意味しますが、具体的にどんな要素からつくられているかわかりますか?」

🏠 「…山とか川から景観がつくられてると思う!」

マチコは少し考えてから、元気よく答えた。



🏠 「さすがはマチコちゃん。1つ目には、山並みや緑地、河川などの“自然”的要素があります。ほかにはどんな要素があると思いますか?」

🏠 「マチコやワシのような建物じゃないかの?」

🏠 「そうですね。2つ目には、建物や道路、橋りょうなどの“都市”の要素があります。」

🏠 「そしてもう1つ。気候風土に根差した生活・文化がまちなみの特徴として表れたり、多くの人が集うイベントや人の往来がまちの雰囲気醸し出すなどの“人(暮らし)”も景観を構成する要素なんです。」




🏠 「これらの3つの要素から景観が構成されていると札幌市はとらえています。」


🏠 「目に見えるものだけではなく、ワシらの暮らしも景観をつくる大切な要素なんじゃな。」

🏠 「そのとおりです。たとえば、みなさんがみどりを大切にしてい暮らしているまちではみどり豊かな景観になります。」


🏠 「ふむふむ。」



 「このように、まちに住む人の思いなどが景観に表れることで、このまちに住みたい、住み続けたい、再び訪れたいと感じさせるようなまちに育てていくことができます。」

 「なるほど。確かに景観が良くなるとまちの魅力もアップしそうじゃが、具体的にはどんな良いことがあるんじゃ？」


 「実は、こんな良いことがあります！」

 「美しいまちなみは、生活に潤いや豊かさを与えます。」


生活に
潤いと豊かさが
生まれます

 「まちがきれいでみどりが感じられると、心が安らぐのう。」

まちに対する
愛着と誇りが
醸成されます

 「日々の暮らしの中でまちの良いところや宝物を見つけて、大切にしていると、まちに対する愛着と誇りが育ちます。」

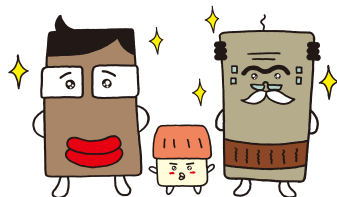
 「宝さがしは、わくわくするよね！」

 「美しく楽しいまちなみには、人が集まり、お店がにぎわい、観光客も増えます。」


地域経済に
活力を
与えます


 「ますますまちが元気になるのう。」

3人は、景観が良くなり、ますます魅力がアップするまちを想像して、目を輝かせた。




 「景観っていろんなことと関係してるんだね。」


 「しかし、札幌市の目指す良い景観って、どんなものなんじゃ？」

 「よくぞ聞いてくれました！ 札幌市景観計画では、札幌市が目指す景観形成の方向性を示しています。」

【景観形成の理念】


北の自然・都市・人が輝きを織りなす美しい札幌の景観を創り上げる


 「この理念では、景観を構成する要素を幅広くとらえ、積極的にさっぽろの魅力を高めていくことを表現しています。」


 「そして、この理念に基づき、次の3つの目標を定めました。」

【景観形成の3つの目標】

1. 札幌固有の景観特性と街の成り立ちを尊重し、秩序と調和のある景観づくり
2. 地域の個性が際立ち、多彩な輝きを放つ景観づくり
3. 多様な主体がつながり、持続的に取組を重ねる景観づくり

 「札幌市景観計画では、景観形成の理念や目標以外にも、目標の実現に向けた基本的な姿勢や方針なども定めています。」

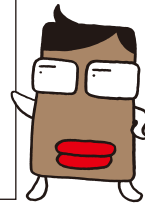
 「それで、目標を実現するためにはどうすればいいんじゃ？」

 「良好な景観の形成を実現するため、4本の柱で整理した取組を推進しています。」

1 届出と協議による景観誘導

大きな建物や橋などをつくるときは、工事前札幌市と話し合いをしてもらいます。話し合いでは、色やデザインがまわりのまちなみに合っているか、お互いに確認します。

【札幌の景観色 70色】



たとえば、建物の色については、この70色をもとに考えてもらっています。

2 景観資源の保全・活用

景観を特色づけるうえで重要な景観資源を保全するため、法律や条例に基づいて「景観重要建造物」、「札幌景観資産」などに指定したり、それらが保全されるよう、修理のための工事費用を補助するなどの手助けをしています。

活用促進景観資源
(景観の種)

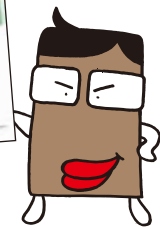


ほかにも、歴史的価値に限らず、みんなが良いと思えるような景観資源を登録する制度もあります。

3 地域ごとの景観まちづくり

地域ごとの特性に応じた魅力的な景観を保全し、創出するため、地域のみなさんが主体的に関わりながら景観形成に向けた取組を行います。また、取組の支えとなる景観まちづくり指針を策定することもできます。

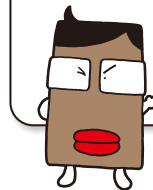
景観まちづくり指針は、地域のみなさんと話し合いを重ねながらつくるんです。



4 普及啓発

良い景観をつくる大切さを多くの人に知ってもらうため、景観への関心の高まりに応じた、さまざまな普及啓発の取組を行っています。

景観に関する情報をもとに考案されたカードゲームを活用した普及啓発も行っているんです。



【景観まちづくりカードゲーム☆景カード】

アタシもやってみよう!



2 みんなで取り組む景観まちづくり ～景観まちづくり指針～

「さて、さっぽろ全体の景観形成について説明してきましたが、ここからは、先ほど説明した4つの取組の1つである『景観まちづくり』の制度について、詳しく説明します。」

「知りたい! 知りたい!」

「景観まちづくりの取組とは、地域のみなさんが主体となり、地域のあり方について考え、話し合いながら、地域の特性に応じた魅力的な景観の形成に向け行う取組のことです。」

「では、実際に景観まちづくりの取組が行われているロープウェイ入口電停周辺地区にお邪魔してみましょう。」

3人は、地下鉄と市電を乗り継ぎ、ロープウェイ入口電停周辺地区へと向かった。



「この地域では、地域のシンボルである藻岩山を中心に、みどり豊かで落ち着いたのあるまちなみがつくられています。」

「また、市電の電停があり、藻岩山への玄関口でもある地域の特徴をいかし、住む人も訪れる人も魅力を感じる景観をつくりたいという思いから、景観まちづくりの取組を行っています。」

「藻岩山をバックに市電が走る景観…この地域ならではのじゃのう。」

「そうなんです! そして、この地域では、地域ごとの景観まちづくりの取組の支えとするため『**景観まちづくり指針**』を定めました。」

「ケイカンマチヅクリシシン?」

「景観まちづくり指針とは、地域の景観をどのようにしていきたいのか、地域のみなさんと話し合い、その中で出てきた意見や要望をまとめたものです。景観まちづくり指針には、このようなことを定めています。」



●目標・方針

良好な景観形成に向けて、地区で共有すべき将来像や取組の方向性など

●対象地区(景観まちづくり推進区域など)

景観まちづくり指針に定めた内容を実現する範囲

●地域景観形成基準

目標・方針に基づいた良好な景観形成のためのルール(基準)など

●地域届出対象行為

札幌市に届出を行う必要がある行為
(建築物の新築・増改築、工作物や看板の設置など)

●良好な景観の形成に資する活動

地域のみなさんが中心となり取り組む、良好な景観の形成につながる活動



「定めた指針は、どんな風に使われるんじゃ？」

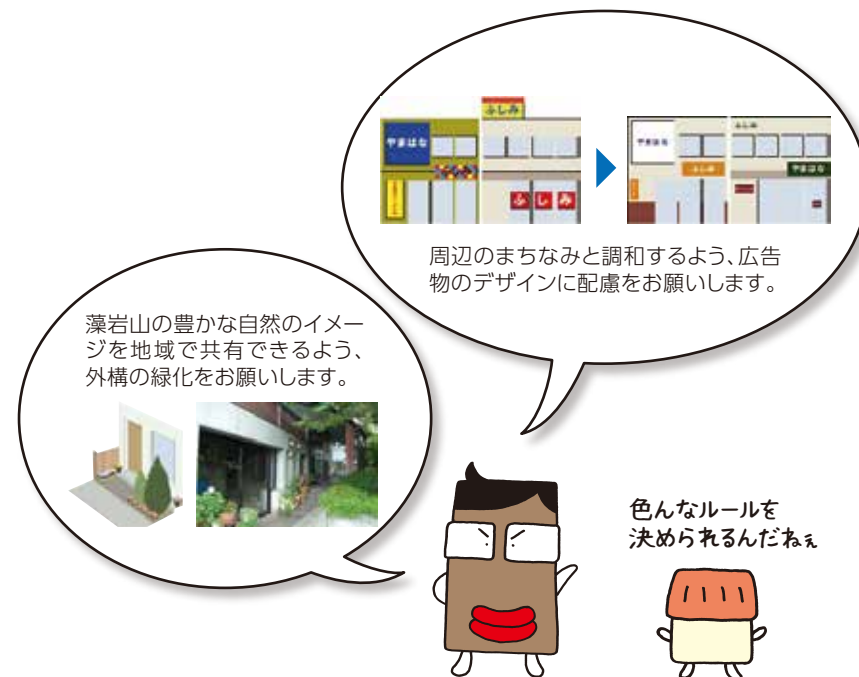
「たとえば、札幌市では大きな建物などをつくるときは、まわりのまちなみと調和しているかどうか、工事を始める前に札幌市と話し合う届出制度がありますが、この地域では、札幌市全体のルールに加え、指針に基づいて話し合いが行われるんです。」

「このように、地域ごとのルールを定めることで、地域の特徴にあった景観形成に向けた話し合いができるんです。」

「このカラーパレットっていうのは何？」

「この地域では、地域になじむ色を『地域のカラーパレット』として定めています。話し合いの際に、建物の外壁に積極的に使ってもらおうようお願いしています。」

「建物の外壁の色についてのルール以外にも、外構に植栽を設けるようお願いしたり、広告物のデザインに配慮してもらおうなど、地域の皆さんと話し合っただけで決めたルールを指針にまとめているんです。」



「みんなで話し合っただけで決めたことが、まちをつくる役に立ってるんだね！」

「良好な景観の形成に資する活動とは、どんなものなんじゃ?」

「地域の魅力を向上させていくためには、地域のみなさんの活動の積み重ねが重要と考え、良好な景観の形成につながる、さまざまな活動を指針の中で定めています。」



たとえば、まちの環境美化につながる清掃活動や花植え活動を行っています。



清掃活動



花植え活動

「清掃活動も景観を良くすることにつながるのなの?」

「もちろんです。清掃活動などのまちの環境美化も、良好な景観形成につながる重要な活動です。」

「このように既に行われている活動の中にも、良好な景観の形成につながるものはたくさんあるんです。」

「まちを良くしたいという思いが、景観を良くすることにもつながってるんじゃないか。」

「ほかに、指針に定める冬ならではの景観づくりとして、この地域ではアイスキャンドルイベントが行われていて、景観まちづくりの取組などに対して助成を行う制度も活用されたんです。」



きれいじゃのう



アイスキャンドルによる冬の景観づくり


地域のみなさんが中心となって、地域ならではの景観づくりに取り組んでいるんです。




「アタシも何かしてみたい!」


「やる気満々ですね、マチコちゃん。まずは、地域の景観をどんな風にしていきたいのか、どんな特徴があるのか、じっくり考えてみましょう。」


(3) 広がっていくまちづくりの取組

 「まちの魅力をアップする取組と言っても、いろいろあるんじゃない。」

 「ほかに、このような取組が行われている地域があるんですよ。」

 「どこ? どこ?」

 「たとえば、宮の沢中央地区では、景観まちづくりの取組と地区計画の2つの制度を活用して、まちの魅力を高めるための取組を行っているんです。」

 「宮の沢中央地区は手稲連山からなる山並みや、二十四軒手稲通りのラベンダー、追分川の桜など、みどり豊かなまちなみも特徴の1つで、これらの特徴を活かし、住み続けたい、住んでみたいと思える魅力的なまちを目指し、取組を進めています。」

宮の沢中央地区のまちづくり



▲宮の沢中央地区
景観まちづくり指針



▲ラベンダー通りの景観




▲クラフト講習会





▲雪明りの路

 「まちの魅力をアップする取組がどんどん広がってるね。」

 「そうですね。そして、さらにこの取組を広げていくためには、まずは自分たちのまちの魅力は何なのか、どのようなまちにしていきたいのか、地域みなさんが考えていくことが大切です。」

 「そうじゃなあ。」

 「そのうえで、地区計画や景観まちづくり指針など、地区の状況に応じた制度を活用することで、札幌市と地域みなさんが協力しながらまちの魅力を高めていくことができるんです。」

 「何かわからないことがある場合は、まずは札幌市に相談してみてください。」

 「まちの未来を想像すると、ワクワクするね!」

3人は、まちの魅力について、そしてこれからのまちの姿について、思いをはせるのであった。

